

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

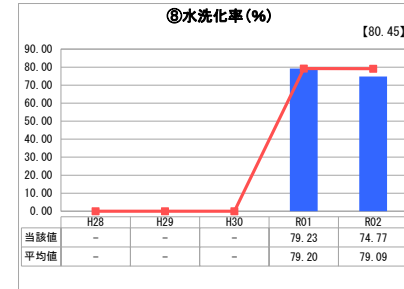
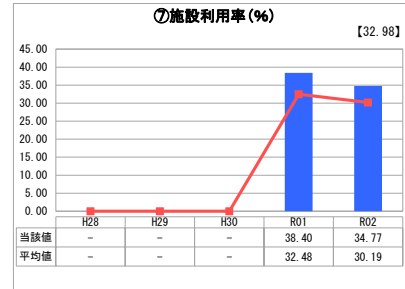
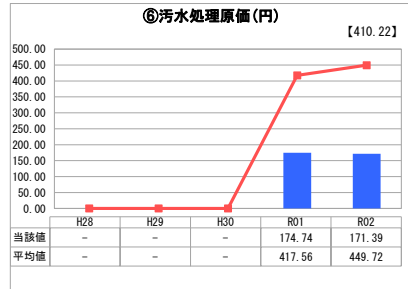
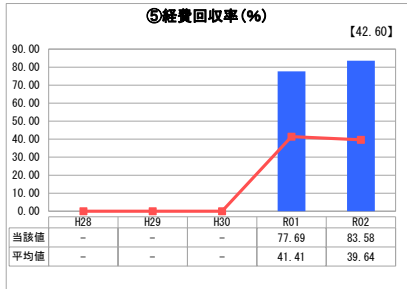
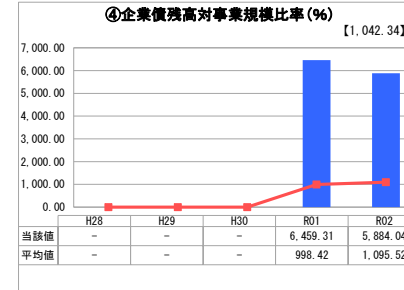
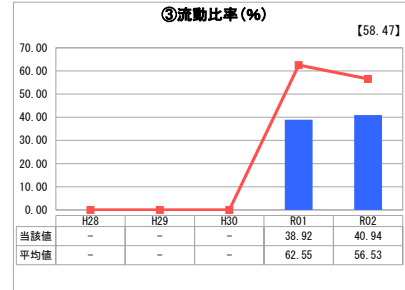
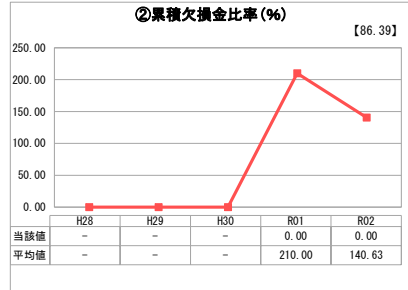
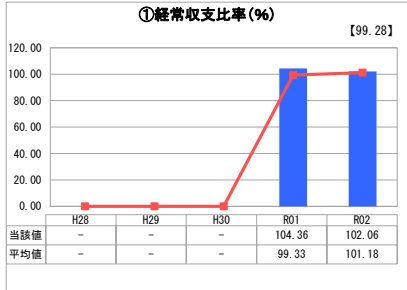
岩手県 久慈市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	59.61	9.44	97.90	2,750

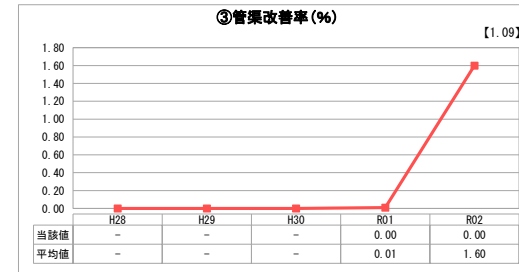
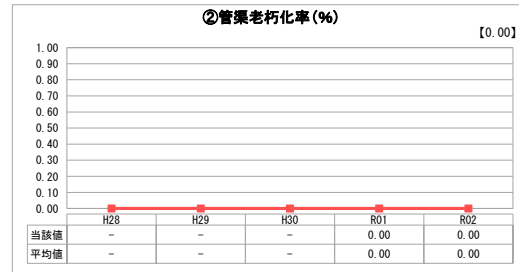
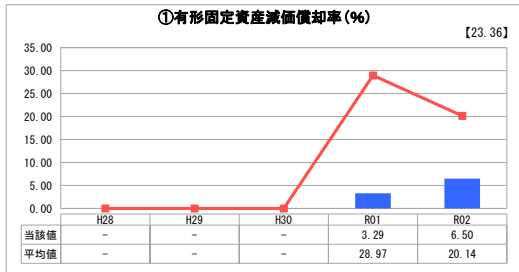
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
34,094	623.50	54.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,183	5.00	636.60

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率について、昨年度に引き続き100%を超えているものの、依然として財源不足を一般会計からの基準外繰入金により補填している状況であることから、経営の改善が必要である。
- ・企業債残高対事業規模比率について、類似団体平均を大きく上回っている。企業債残高について、整備事業について令和4年度を以って完了する予定であることから、それ以降は改善していく見込みである。
- ・汚水処理原価について、類似団体平均を大きく下回っているものの、経費回収率が100%を下回っていることから、一般会計繰入金を削減するため、経費に見合う適正な使用料体系の検討に取り組む必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

- ・当事業について、最も整備の早い麦生地区では平成5年の供用開始から30年近くが経過している。令和4年度を以って整備事業を完了し、機能保全計画に基づく更新事業に移行する予定であることから、耐用年数を経過した資産について、順次更新を進めていく必要がある。

### 全体総括

- ・経営指標上、類似団体と比べて経営状態は良好であると考えられる。しかし、将来的には人口減少による使用料収入の減少及び施設利用率の低下が見込まれることから、経営戦略の見直しに取り組むとともに、ダウンサイジング等による施設の適正化に努める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。